

ふらりらいふらりい

～図書室にはこんな本があります～

No.2

今月は、“夏休み”ということで、小・中学生向けの図書をいくつか紹介します。

- ◆ 第2次世界大戦はどのようにして始まり、日本はどのように参戦していったか。また、当時の人々の暮らしや社会の状況等はどうだったか。

「語りつごう アジア・太平洋戦争 1～10巻」(夏休み用ブックトラックにあります。)
「昭和二万日の全記録 第6巻」(開架:210.7 Ko19)

- ◆ 戦争中の子どもたちがどんな暮らしをしていたか。何を思い、どう行動したか。

「8月15日の子どもたち」(夏休み用ブックトラックにあります。)
「「昭和」の学校行事」(“ ”)
「昭和の戦争と少年少女の日記」(“ ”)
「戦後50年学童疎開の子どもたち 1～3巻」(“ ”)
「光るノート」(“ ”)
「写真集 子どもたちの昭和史」(開架大型:210.7 Ko21)
「写真絵画集成 戦争と子どもたち 1～6」(開架大型:210.7 Sa67)

- ◆ 戦争に関して、どんな子ども向けの図書があるか。

「1800冊の戦争一子どもの本を検証する」(開架参考:R028 Ko21)

【参考】“夏休み用ブックトラックにあります。”となっている図書は、図書室コピー機隣のブックトラックにあります。

ここで紹介した以外の小・中学生向けの図書も展示しています。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等が分からない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ①

おいしいご飯を食べたときに、思わず出るあの一言！

「もう一杯！」

面白い本を読んだときにも、そんな気持ちになりませんか？

「もう一冊！」

そんな「もう一冊」を引っ張り出しながら、”ぶらりらいぶらりい”の穴埋めしてみたいと思います。

さて、食べ物のお話で始まったので、やはり食べ物の本から行きましょう。キーワードは、食事、料理、非常食・・・。いろいろ引いてみてください。

まず「食事史」山本千代喜が有ります、初版は昭和17年で、本文和紙箱入りと言う凝ったもので、戦時中とは思えない出来の本です。これは昭和30年に龍星閣で再刊されましたが、このときも総皮装丁本限定100部というものでしたが、間もなく普及版が出ました。昭和館にはこの普及版があります。古今東西の食事に関するエピソードで埋まった、お勧めの一冊です。ちなみに同じ著者で「酒の書物」も出ています。

ま、エピソードは別にして、「精進料理大事典」なんていう大型五冊本というような本があります。平安時代から江戸までの精進料理の材料、料理がずらりと並んでいます。ちょっと作るには、肩が凝りそうです。

所で、昭和館はこんなグルメっぽい本ばかりではありません。戦時中の「超非グルメ本」の代表のような本が「食べられる野草」(陸軍獣医学校研究部)昭和19年でしょうね。とにかく、そこらの雑草が何でも食べられるようなことが書いてあるのですから凄い本です。北杜夫の随筆の中に、この本を読んで、「これで空腹とおさらばだ」と思ったところ、実際にはとても食べられなかった。と言う話がありました。

実験して見ませんか？

と言うわけで、今回の「もう一冊は」おしまいです。(午睡)

- 図書室から -

梅雨も明け、夏本番になってきました。子供達は楽しい夏休みですが、大人も子供も暑い毎日、元気に乗り切りたいものです。

* 「夏休み宿題・研究コーナー」の設置 (コピー機の隣)

児童・生徒向けの資料を選びました。知識を深めたり、宿題や自由研究などの調べものにご利用ください。

* 新聞縮刷版、新着雑誌の設置 (開架、参考図書隣)

新聞4誌 (朝日、毎日、読売、日本経済新聞) の縮刷版と新着雑誌 (文化、歴史等一般誌及び専門誌) を今年の1月から揃えました。また、類似施設 (博物館・美術館等) の広報資料も併せてご利用ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 2 1999年7月25日 発行 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
